

# 東海第二原発 20年延長稼働はやめろ！

## 「事前了解権」を削除した新提案を許せない！

### ■東海第二原発は30年稼働で設計

東海第二原発（1978年11月28日）が稼働した70年代、日本では11基の原発が稼働しましたが原子力の心臓部である「压力容器」は30年の使用が前提でした。東海第二原発の压力容器の試験片は30年分しか置いていなかったことでもはっきりしています。

11年3月11日に起きた東日本大震災で東電福島原発の過酷事故が発生。その後原子炉等規制基準が変更され「40年で廃炉とする」とされました。しかし抜け道ともいえる例外措置として「特別な場合は一度だけ20年延長をできる」とされました。

「30年稼働の設計」で建造された東海第二原発の稼働年数も40年に引き延ばされました。日本原電はさらに20年の稼働延長を狙っています。

### ■県・東海村と日本原電が締結した「安全協定」は「事前同意権」を明記！

県と東海村は日本原電と「原子力安全協定」を締結。協定では、東海第二原発の稼働に当たっては、「事前に地元（県・東海村）の了解」を得ることになっています。

これに対し立地自治体の東海村と日立市、ひたちなか市、那珂市、陸太田市、水戸市が原子力所在地域首長懇談会を結成。東海第二原発の稼働に当たって、県・東海村と同等の「地元の了解」を必要とする協定を結ぶよう要求しました。

### 東海第二原発20年延長反対の意見書/8市で採択される！

牛久市（平成28年6月）、下妻市（平成28年9月）、境市（平成28年9月）、阿見町（平成28年10月）、つくばみらい市（平成28年12月）、取手市（平成28年12月）、土浦市（平成29年3月）、鹿嶋市（平成29年3月）の8市で、「東海第二原発は、40年を超えた運転をするべきでない」旨の意見書が採択されています。



■日本原電から回答が！ これに対して日本原電は17年3月24日、「原子力所在地域首長懇談会からの安全協定改定要請に対するご回答」を提出しました。それによると、

#### ■現行協定

（新增設などに対する事前了解）

・原電が、原子力施設や関連施設を新設・増設しようとするときは、事前に県と東海村の了解を得る。 県は、必要があれば村隣接4市に意見を求める。

#### ■提案された新協定

6市村について新增設等に関する事業者による事前説明と事業者

に対し意見を述べる権限を追加すること

- ① 新增設等に関して事業者に事前説明を義務づけること
  - ② この説明に関し事業者に対し意見を述べるができること
- それに対し、事業者は誠意をもって回答すること

新聞等によると、首長側は一定の理解を示す一方、事前了解権限の拡大に触れられていなかったことから「なぜ事前了解の言葉を使わないのか」との疑問の声が上がりましたが、首長懇談会長の東海村長は「前向きな回答をもらった。今回の提案をベースに詰めていきたい。」と語り、水戸市長は「これまで無かったものが生まれたという意味で、全くのゼロ回答というわけではない。」とコメントしたといいます。しかし、新提案は「事前同意権」を削除するなど現行協定より後退しているのは明らかです。

### ■20年延長のための「特別点検」を4月から実施する日本原電！

3月31日、日本原電は「早ければ来月（2017年4月）から特別点検を行う」考えを明らかにしました。「運転の延長を申請するということか」という質問に対し、「申請そのものはまだ決めていない」とする一方で、「期限を頭に入れながら特別点検を実施する」と述べました。点検結果に問題がなければ、今年11月までに運転延長の申請を行うことは明らかです。危険な老朽原発の稼働を許してはなりません。

時事川柳

スズクサ

先日は“県平和委員会活動交流集会”お疲れ様でした。  
拙句をお送りします。

【常陸太田平和の会 福田亘男】

取り戻す 戦争への道 共謀罪

大義なき 搾り寄る党も 知事党も

蝙蝠も ビックリ都議会 乞う迷党

沖繩も 東北も見捨てる アベの道

改憲が 総裁任期と アベ延ばし

生前退位 天皇様より アベが先

### 「5.3憲法フェスティバル」

## 賛同金への協力を！！

平和の会で、団体賛同（1口＝3000円）1口、  
個人賛同10人以上を目安に！

### 平和新聞

2017年4月15日（土曜日）  
2137号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 **日本平和委員会**  
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

### 平和かわら版

平和新聞茨城版 No. 775  
2017.4/15  
発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281  
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

# 日本は改めて平和外交に徹すべき！

「アメリカ・ファースト」と主張していたトランプ米大統領は、子どもを含む80人の住民が亡くなったシリア北部のイドリア県の空爆で猛毒の神経ガス・サリンが使われていたとの報告を受け、ただちにシリア空軍基地に59発の巡航ミサイル・トマホークを打ち込みました。それを受けた安倍首相は、アメリカの行動の全面支持を表明しました。しかし、今回の攻撃は、国連安保決議採択もなく、個別的自衛権の発動でも集団的自衛権の発動でもありません。アメリカ議会の承認すらありません。

## アメリカのシリア爆撃について 米国トランプ政権のシリア攻撃に抗議する



一、トランプ米大統領は、6日（日本時間7日午前）、米軍に命じシリア空軍基地に巡航ミサイル59発を発射した。この攻撃によって、シリア軍兵士と民間人十数人が死亡したとの報道もある。同大統領はこれについて声明で、「化学兵器の拡散と攻撃を防ぐため、シリア軍の飛行場と軍事施設を標的にした」「（化学兵器拡散防止という）米国の国家安全保障上の極めて重要な利益となる」と正当化している。

化学兵器使用は、誰によるものであれ、人道と国際法に反する重大で許されない残虐行為である。それに対しては、真相を徹底的に究明し、国際法にもとづき国際社会が一致してその根絶のための措置をとることが求められている。現に米英仏が国連安保理に5日に提示していた決議案では、シリアでの化学兵器使用について国際的な真相究明を求めている。

ところがトランプ大統領は、一方的にシリア政権の行為と決めつけ、国連決議もないまま、一方的に武力攻撃を行ったのである。これは、国連憲章と国際法に反する無法な武力攻撃である。もしこれが許されれば、米国が「国家安全保障上の利益」と判断すれば、いつでもどこでも勝手に武力攻撃することができる無法世界になってしまう。断じて許されない。そしてこのような攻撃は、シリアの内戦状態をいっそう悪化させるだけである。

さらに問題なのは、シリア政府軍が化学兵器を使ったという根拠も明らかにされておらず、攻撃の正当性について、説明すらできない行為です。これについて日本平和委員会は抗議文を発表しました。



2017年4月8日 日本平和委員会

一、重大なことは、安倍首相が「化学兵器の拡散と使用は絶対に許さないとの米国政府の決意を日本政府は支持いたします」と、無条件にこの武力行使を支持したことである。一方で菅官房長官は、「（化学兵器使用の）事実関係については国連機関で現在、調査している」と述べている。支離滅裂である。ここには、国連憲章と国際法、事実と道理にもとづき平和的解決をめざす自主的立場のかけらもない対米追随姿勢が示されている。

しかも注視しなければならないのは、安倍首相が「東アジアでも大量破壊兵器の脅威は深刻さを増しています。その中で、国際秩序の維持と同盟国と世界の平和と安全に対する米大統領の強いコミットメントを日本は高く評価します」と、北朝鮮を念頭に今回のような対応を求める姿勢を示していることである。トランプ政権は現在、先制攻撃も含む軍事的選択肢も含め対北朝鮮政策を検討している。このようなことを実行すれば、この地域は核戦争も含む悲惨な戦争へと突き進むことになる。その方向を求めるような安倍首相の発言は、極めて危険だと言わなければならない。そのような軍事的緊張を高める道ではなく、いま国連で交渉されている核兵器全面禁止条約を実現し、非核平和の北東アジアを実現するためにこそ全力をあげるべきである。そのことを、この際改めて強く求めるものである。

# 自由な発想で東海第二原発の 廃炉を訴える巡回宣伝！

## 県内各地から続々と参加する仲間たち！

毎週水曜日と毎月第2日曜日の午後1時30分から行っている、東海村内の「東海第二原発20年稼働延長反対・廃炉に」を訴える「巡回宣伝（スポット演説）」が、4月5日（水）午後1時30分から行われました。



東海村平和委員会の川崎会長宅に地元の東海村、美和・緒川、北茨城、日立、鹿嶋、茨城町などから8人が集まりました。挨拶のあと30分程の情報交換や訴える内容の話し合いを行います。その後「2人+3人+3人」の3班に分かれ、巡回する地域分担を確認し、車にハンドマイクとのぼり旗を積み込んで出発しました。

訴える内容は各人の自由です。ある人は「ご近所の皆さん。私は原発のすぐ近くで生活している〇〇です。」と、身分と名前を明らかにして訴えます。またある人は原稿を用意して「こんにちは。お静かな中をすみません。しばし訴えさせて下さい。」「ボランティアの活動をしながら、東海第二原発の廃炉を訴えています」など、導入も様々です。

その後、「老朽原発の危険性」や「原発は廃炉と考えている理由」「原発に対する世界の動き」「『責任を取る』と言っている政府の、東電福島原発事故の責任の取り方」「万が一にも過酷事故が起こった場合に生起する悲惨な現状」「自然エネルギーの普及状況と原発」など、参加者が自由な発想で訴えます。車の中から笑顔で手を振る人、通行する人のほとんどは「ご苦労さま」と笑顔で挨拶していきます。

1ヶ所で5分から10分程度。1つの班が8ヶ所で訴えました。3班の合計は24ヶ所になります。終了は4時過ぎになりました。